



岩城少年自然の家だより



自然は友だち
青い海原 緑の山なみ

のべ利用者数（1983年6月～2025年2月）…1,140,995名
令和6年度の利用者数（～2月末）…11,155名（2月の利用者数…519名）

秋田県立岩城少年自然の家
（ガンパル岩城） 2025. 3. 24

キッズキャンプ（冬）…ワカメの収穫をしたよ！

キッズキャンプ（冬）～春うらら ワカメとデイキャンプで うきうき!!～が3月1日（土）に行われ、年中～小学2年生の30名のお子さん、保護者の皆さんを合わせ60名が参加しました。

午前、道川漁港でワカメの収穫体験をしました。親子で仲良く鎌を使い、袋いっぱいワカメを刈り取っていました。30分後にはロープだけが残し、ワカメがきれいに刈り取られていました。スタッフが「ワカメのたね」の話をする、ロープに細く巻き付けてある糸を探して、たねの場所を確かめようとするお子さんの姿が印象的でした。

午後は、ワカメの試食やデイキャンプ体験（かがり火、野外散策、たき火、焼きマッシュマロ）をしました。ワカメの試食をして「サクサクしていた」と表現したお子さんもおりました。かがり火では、火の神様も登場し、点火しようとした時「えっ、下から（点けるの）？」と、あるお子さんから驚きの声が出ました。このような気づきや「はてな？」「どうして？」はとても大切です。参加者の皆さんは、終始笑顔で安全に活動することができました。五感をフルに使ったキャンプでした。

「道川海の森づくり推進協議会」の小野会長はじめ協力してくださった皆さま、ありがとうございました。



《感想を紹介》

- ・ワカメを実際に収穫することで、香り、重さ、気候など実感できて、よい体験をすることができた。
- ・私も含め、外遊びが好きであり、また、新しい出会いがあるのが魅力だと思う。
- ・自然を通して、子どもはいろいろと学ぶことができるということを、より実感した。
- ・今回のようにふだんさせたいけどさせられない、そのような場所が本当にありがたい。水・火・山など、危ないけど、ちゃんとルールを守れば楽しく遊べる、そんな場所をこれからも経験させたい。



☆令和7年度は、9月下旬と2月下旬にキッズキャンプを予定しています。

オープンデー 特別プログラム「うどん作り」



2月16日(日)に行われたオープンデー特別プログラムの「手作りうどんを食いたいな」には、32名が参加しました。その中には、昨年も「うどん作り」に参加した経験者や、「おとなの遠足(秋)」に参加した方もおりました。

うどんの生地から手作りするので、家族連れや友達同士で参加した皆さんは、真剣な表情で生地をこねたり、麺棒でのばしたりしていました。

生地を30分ねかせた後、お好みの麺の太さに切って茹でたてをいただきました。自分で作った手打ちうどんを食べて、想像以上のおいしさに「世界一おいしい!」と驚きの表情を見せる女性もいました。

「さっそく材料を買って午後から作ります」「生地をこねるのも包丁で切るのもすごく楽しかった」などの感想をいただきました。たくさんのご参加をありがとうございました。

☆令和7年度のオープンデーは、偶数月の第3日曜日に実施します。どなたでもお越しいただけます。四季折々の自然に触れてみませんか?

4月の予定

(受入団体等)

ノースアジア大学 4日(金)～5日(土)
利用相談会① 14日(月)
消防学校 23日(水)～24日(木)

(出前講座)

新屋高校(1年) 9日(水)
木のおもちゃ館 20日(日)

(主催事業)

オープンデー 20日(日)

2月17日(月)に、7名の委員と県教育庁生涯学習課職員にご出席いただき、令和6年度第2回岩城少年自然の家協働会議が実施されました。会ではウサギコースやクマ対策、出前講座(防災スキル)、活動プログラムの内容などが話題に上り、委員の皆さま全員から、貴重なご意見・ご感想をいただきました。本当にありがとうございました。

「(雨などで外で遊べなくて)困ったら岩城少年自然の家」といったワードもひそかにあるそうです。

3月18日現在で、令和6年度の延べ利用団体数が312団体、延べ利用者数が11,313人となりました。これもひとえに利用者の皆様のおかげです。スタッフ一同感謝申し上げます。



ホームページ



ホームページや
Facebook
Instagramで
情報をチェック!



Facebook



Instagram

～今年度のご利用、ありがとうございました～

来年度も「ガンパル岩城」をよろしく願います。おとなの方々もご利用できます!